

豊栄病院 ニュース

令和5年4月号

令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の2類から5類に変更されるにあたり、当院においてもその対応・対処法を大きく変更し、規制緩和などを行うつもりです。入院患者さんへの面会についてはコロナ以前と同様に戻そうと思います。ただし、病院内では職員はもちろん、すべての方のマスク着用は継続します。マスクに関しては、おそらくはもう1年くらいは我慢が必要だと思います。対策緩和を行うことで、院内での感染クラスターを生じることもあると思いますが、ある程度は仕方がないと腹を括るしかないと考えています。患者様・患者家族の皆様にもこの辺りはご理解いただきたいと思ひます。

令和5年4月1日、新潟県厚生連の理事長に、前新潟県立新発田病院病院長、塚田芳久医師が就任されました。新潟県厚生連としては、初めての医師の理事長です。これからの医療構造改革・地域医療構想に対し、厚生連のそして新潟県の大きな変革を起こすものと思ひます。



新潟日報などで報道されていますが(上記)、現在新潟市では、新潟県医師会が主導して、新潟市に救急医療を担う拠点病院を新たに設ける計画が進行されています。年間 8000 台以上と現在の新潟市民病院の受け入れ件数よりもかなり多い数の救急者受け入れを行う計画となっています。3月27日の公募締め切りまでに立候補したのは、新潟県厚生連の新潟医療センターと

済生会新潟病院の 2 病院でした。6月中にどちらかの病院に正式決定がなされる予定となっています。

<各病院の役割の基本的なイメージ>

	地域で高度な医療を支える柱となる病院	地域包括ケアシステムを支える医療機関	
		救急拠点型	地域密着型
脳卒中・急性心筋梗塞等の高度・専門的な治療、手術機能	↑		
重症患者の救急受け入れ機能			
休日・夜間の救急受け入れ機能		↑	
サブアキュート機能(軽・中等症患者の救急受け入れ機能)			
在宅医療の後方支援機能(かかりつけ患者の救急受け入れ機能等)			↑
ポストアキュート機能(長期急性期患者や回復期患者の受け入れ、治療機能)			

※ 上記以外の機能の役割分担については、別途検討する必要があります。

今後当院は、いずれの病院が救急拠点病院になろうとも、救急拠点病院に入院後、急性期を過ぎた状況で転院受け入れを行い、リハビリなどを行い、退院支援を行う地域包括ケアシステムを支える病院(上記)として頑張っていくこととなります。当然、できる急性期医療や手術などは今まで通り行い、(救急拠点病院に休日・夜間などの救急は頑張っていたいたうえで)地域の救急医療も行っていく予定です。新潟市全体の地域医療・救急医療を崩壊させないためにも、当院の役割をしっかりと行っていきたく思います。



以前のニュースでお知らせしたように、この冬、駐車場のスペース拡大のため、病院建物脇の桜の木を当院から移設しました。おかげさまで例年と比べ降雪時の駐車場不足に対するご不満の声は少なかったですが、4 月に入り、桜ロスの状態です。なお病院正面のしだれ桜は健在です。

発行責任者・文責：豊栄病院病院長 宮島 透

豊栄病院 (代表)

TEL 025-386-2311

FAX 025-386-2370

豊栄病院 患者総合支援センター

TEL 025-386-2801 (直通)、FAX 025-386-2784